

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公開番号】特開 2005-150092 (P2005-150092A)  
 【公開日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-022  
 【出願番号】特願 2004-294471 (P2004-294471)  
 【国際特許分類】

**H 0 1 J      9/26      (2006.01)**

【F I】

H 0 1 J      9/26      A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 14 日 (2006.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の基板と第 2 の基板とを起立した状態で対向配置するステップと、

前記第 1 の基板及び前記第 2 の基板とともに気密容器を形成するための枠と、前記第 1 の基板及び前記第 2 の基板の一方とを接合するステップと、  
 を有しており、前記接合するステップは、前記第 1 の基板と前記第 2 の基板を対向配置した状態で、前記枠と前記一方の基板を突き当てることによって形成される、該枠と該一方の基板との隅部に沿った小領域毎に、前記枠と前記一方の基板とを接合が可能な温度以上の温度に加熱した低融点金属を含む封着材の供給と固化とを順次行い、前記枠と前記一方の基板とを接合する

ことを特徴とする気密容器の製造方法。

【請求項 2】

第 1 の基板と第 2 の基板とを起立した状態で対向配置するステップと、

前記第 1 の基板及び前記第 2 の基板とともに気密容器を形成するための枠と、前記第 1 の基板及び前記第 2 の基板の一方とを接合するステップと、  
 を有しており、前記接合するステップは、前記第 1 の基板と前記第 2 の基板を対向配置した状態で、前記枠と前記一方の基板を突き当てることによって形成される該枠と該一方の基板との隅部に沿って封着材を設け、該封着材を前記隅部に沿った小領域毎に前記枠と前記一方の基板とを接合可能な温度以上の温度にする加熱と固化とを順次行うことで、前記枠と前記一方の基板とを接合する

ことを特徴とする気密容器の製造方法。

【請求項 3】

前記接合するステップは、真空雰囲気下で行うことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の気密容器の製造方法。

【請求項 4】

表示素子と、該表示素子を内包する気密容器と、を有する画像表示装置の製造方法であって、前記気密容器は、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の方法で製造されることを特徴とする画像表示装置の製造方法。

【請求項 5】

表示素子と少なくとも該表示素子に接続された表示用電極とを有する気密容器と、前記

表示用電極に電圧を印加する駆動回路と、テレビジョン信号に基づいて映像信号を発生させて前記駆動回路に該発生させた映像信号を供給するコントローラと、を有するテレビジョン装置の製造方法であって、前記気密容器は、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の製造方法で製造されることを特徴とするテレビジョン装置の製造方法。